

それが、運命です

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2945号
(2011年11月24日発行)より

「運命は決まっているか、いないか」
そんな問いがあるとしたら、いまの私は、「いる」とこたえます。

それが本当に正しいかどうかは、わかりませんが、少なくとも、「いる」と思うことで、生きかたが変わりました。それだけはたしかです。

私などよりもっと大変な思いをされているかたは、実際、いくらでもいます。私など、むしろ、恵まれて生きているほうだということも、わかっています。

それでも、こころの痛むできごとを体験したり、くじけそうな気持ちになったことも、しばしばあります。

でも、振り返って思うのです。すべて

はあるべくしてあったなあ。そのときは、どうしてこんな思いをしなればならないのかと思ったことも、もうこんなことは耐えがたいと思ったことも、すべて、いまの私につながっていることでした。

あのときの、あのかなしみがなかったら、いま、私はこうした生きかたを選ばなかったかもしれない。あのとき、あの苦しみがあったからこそ、私は、この道に進んでいる。そんなふうに思うのです。

だから、いま、目の前にあることに、いい・悪いをつけても、しかたがないのです。それがどんな意味をもつかは、いまは、わからないのですから。単純に言ってしまえば、人間万事塞翁馬。いつか、なるようになっていくのです。

だから、私にできることは、ただ、いまを精一杯生きるだけ。たとえ、うまくいっていないように感じたとしても、

自分が、そうしようと決めたなら、とにかく全力を尽くすのです。

「運命が決まっている」というのは、この先が、何をしても変わらない、ということではありません。いま、どう生きるかが、これからの運命を決めているのです。逆に言えば、いま、どう生きるかで、これからの運命が決まるのです。

それが正しいかどうかはわかりませんが、私は、私で、そう決めたのです。そう決めたときから、私のなかにスイッチが入りました。いま、この瞬間を、本気で生きると。

もしかしたら、「いま、この瞬間をどう生きるかで、その先の運命が決まる」という「運命」が決まっている…のかもしれない。(ややこしい表現ですね)(笑)

さて。いま、この瞬間をどう生きるかで、この先の運命が決まるとしたら、

あなたは、どう生きますか？

最後に、もうひとつ。それがどうであったかは、死ぬときまでわからないんですよ。だって、人生は、いつどこで引っくり返るかわからないですからね。よかったか悪かったかなんて、死んだあとで、決めればいいんです。そして、死んでしまったら、そんなことは決めることができないのですから、いまだって、決める必要はないってことです。

そんなことを思いわずらうのはやめて、いまを精一杯生きましょうよ。あなたの道は、あなたがひらくことができるんです。それが、運命です♪

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、**2003年11月1日**創刊。**2011年10月、2900号**達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>